

アドバンス・トップエスイー プロフェッショナルスタディ



新規製品開発時の発想支援ツールの提案

辻脇 優一

yuichi.tsujiwaki@gmail.com

開発における問題点

新規製品を開発する時には、既存の製品に対し、新しい価値を付加する必要がある、製品における価値とは、顧客のゴールを達成することであり、製品とはそのゴールを満たす手段である。筆者の所属するチームでは、現状そのような新しい価値のアイディアは、開発者の閃きや発想に頼っており、コンスタントに生み出すことができていない。



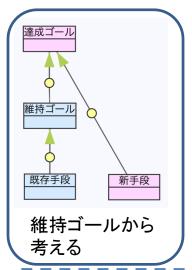
手法・ツールの適用による解決

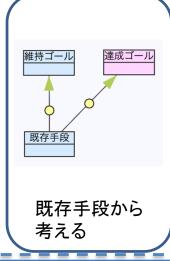
経験的な知見に基づいて作られた独自の発想 支援手法に対し、目的・手段の関係などの表現 方法を洗練すべくKAOS法との融合を試みた。実際の新製品開発のアイディアを本手法に適用した結果、新たな発想の構造を可視化することができた。本手法の発想支援ツールも開発し、実務へ適用する際の課題を明らかにした。

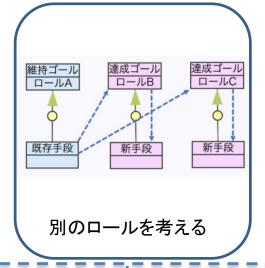
課題解決するためのアプローチ

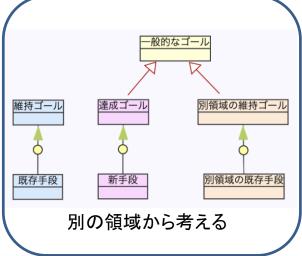
(既存の)手法+KAOS+ペルソナ

価値を創造するためには達成ゴールを定義しなければならない 達成ゴールを考えるための考え方を提供することが必要









ツールの開発と例題への適用

Chrome ファイル 編集 表示 履歴 ブックマーク ユーザー ウィンドウ ヘルブ は kaos-tool × + () ファイル file:///Users/yuichi/Documents/Topse/プロフェッショナルスタディ/成果物/tool/kaos_tool.html 複数の対象の状況を取得できる 収をものは? 基力にいる人は?オペレータ 素力にいる人は?オペレータ 素力にいる人は?オペレータ 素ができるオペレータ 複数の表人をフォローするコーザ 複数の表人をフォローするコーザ 複数の表人をフォローするオペレータ 資数の表人をフォローするコーザ 有数の表人をフォローするコーザ 大水の状況を発信できるオペレータ を置の前面パネルで大況を発信できるオペレータ を変した装置の状況を手元の端末で確認できるオペレータ 「有数の表人をフォローするコーザ 大水ルータ 大水ルータ

現場へ適用する際の課題

- ツールを使うということへの
 心理的ハードルへの対処
- 実際に効果があるのかという疑念の解消

課題解決への取り組み

- 無とポストイットを用いて、本手法の考え方の枠組みを導入
- 4つのアイディアで多様なステークホルダの価値を導出するために
- 簡単な質問を用意→思考支援